

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公表番号】特表2006-507931(P2006-507931A)

【公表日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-010

【出願番号】特願2004-556315(P2004-556315)

【国際特許分類】

B 01 D	69/02	(2006.01)
B 01 D	69/06	(2006.01)
B 01 D	69/08	(2006.01)
B 01 D	71/50	(2006.01)
B 01 D	71/62	(2006.01)
B 01 D	71/64	(2006.01)
B 01 D	71/68	(2006.01)
C 08 J	9/12	(2006.01)
C 08 L	101/00	(2006.01)

【F I】

B 01 D	69/02	
B 01 D	69/06	
B 01 D	69/08	
B 01 D	71/50	
B 01 D	71/62	
B 01 D	71/64	
B 01 D	71/68	
C 08 J	9/12	C E R
C 08 J	9/12	C E Z
C 08 L	101/00	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年8月27日(2008.8.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

ポリマーブレンドまたはモノマーエニットのブロックを含むブロックコポリマーを成形すること、大気圧を超える圧力で前記ポリマーブレンドまたはブロックコポリマーに発泡ガスを供給すること、前記発泡ガスが供給されたポリマーブレンドまたはブロックコポリマーを、臨界ガス濃度を超える前記ポリマーブレンドまたはブロックコポリマー内のガス濃度および臨界温度を下回るがポリマー／ガス混合物またはブロックコポリマー／ガス混合物のガラス転移温度を超える温度で発泡させること、および最終的に、発泡体構造を前記ポリマーブレンド／ガス混合物またはブロックコポリマー／ガス混合物のガラス転移温度を下回る温度まで冷却して安定化させることにより製造され得る膜であって、前記ポリマーブレンドとして少なくとも1種の親水性および少なくとも1種の疎水性ポリマーを含む均質ポリマーブレンド、および／または親水性および疎水性モノマーエニットの交互ブロックからなるブロックコポリマーが用いられ、前記ポリマーブレンドとブロックコポリマーの両方が使用した発泡ガスに対して臨界ガス濃度を超える溶解性を有することを特

徴とする膜。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 5】

成形後のポリマーブレンドまたはブロックコポリマーにポリマーブレンド／ガス混合物またはブロックコポリマー／ガス混合物のガラス転移温度を下回る温度で発泡ガスを供給し、次いで、ポリマーブレンド／ガス混合物またはブロックコポリマー／ガス混合物のガラス転移温度を超えるが、ポリマーブレンド／ガス混合物またはブロックコポリマー／ガス混合物の臨界温度を下回る温度に温度を上昇させることにより発泡させることを特徴とする請求項 1ないし 4のいずれか 1 項記載の膜。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 6】

成形後、ポリマーブレンド／ガス混合物またはブロックコポリマー／ガス混合物のガラス転移温度を超えるが、ポリマーブレンド／ガス混合物またはブロックコポリマー／ガス混合物の臨界温度を下回る温度で、混合物に発泡ガスを供給し、その後、圧力減少により発泡させることを特徴とする請求項 1ないし 4のいずれか 1 項記載の膜。